

昔ながらの手作りみそ

2月6日、恵那の味・伝承講座特別版「恵那みそ寒仕込み講座」が武並町のむつみマニユファクトリー（柘植三津世代表）で開催され、市内外から16人が参加しました。この講座では、市内産の大豆を使用し、添加物などを使わない昔ながらの「手作りみそ」を体験。講座では、大豆の上手な煮方や少ない量での仕込みは菌の発酵が遅れることなどを習い、受講生らは真剣にメモを取るなどして学習しながら、12月中旬の蔵出しを楽しみにしていました。



煮大豆と麹を手作業で念入りに混ぜ合わせる受講生

もち花に願いを込めて



孫と一緒にもち花づくりを楽しむ参加者

2月3日、明智文化センターでもち花づくりが開催されました。これは、地域の伝統行事を子どもたちに教えようと、まちづくり団体「モガ・サロン」（伊藤千鶴代表）が企画。もち花は、昨年から花の色を5色とし、白は「平和と健康」、赤は「やる気」、黄は「お金」、緑は「大地」、桃は「優しさ」と、それぞれに願いを込めた色とりどりの花を考案。今回は地元産のもち米21kg分、300本分が用意され、地元の親子連れなどたくさんの人でにぎわいました。

手作りチョコレートケーキ

2月11日、恵那文化センターでバレンタインデーに合わせた市民講座「親子で手作りバレンタイン」が開催され、市内の親子21人が参加し、チョコレートケーキのガトーショコラとチョコバナナ作りに挑戦しました。参加者は、チョコレートを溶かしたりメレンゲを泡立てたりと、一生懸命作っていました。参加した市川賀恵さん（三郷小学校4年生）は「今日覚えたケーキを家でも作ってお父さんにあげます」と笑顔で話しました。



溶かしたチョコレートとメレンゲを混ぜる参加者

大井と山岡、児童らが交流



大井小学校の図書館を案内する児童

2月5日、大井小学校で同校4年生54人と山岡小学校4年生38人のふれあい交流事業が行われました。これは、ほかの学校に訪れ児童と交流することで、合併後の市全体の地域を子どもたちにも理解してもらおうと行われています。

この日は、大井小学校の児童が図書館や校長室、中庭などを山岡小学校の児童に案内しながら交流を深めました。最後に、山岡小学校から大井小学校へ寒天のプレゼントがありました。

自分の中の鬼出て行け～

2月1日、中野方小学校で節分集会が行われました。同集会では、節分に関するクイズや、一人一人が全校生徒88人の前で自分の中の鬼を発表し、その鬼を追い出す宣言をしました。これは、節分に対する理解と、子どもたち一人一人が自分自身を見つめ直し自分の成長、向上につなげようと毎年行われています。子どもたちからは、「だらだら鬼」「めんどくさ鬼」「怒りんぼ鬼など」さまざまな鬼が発表され、みんな大きな声で元気に鬼退治を宣言しました。



元氣よく自分の中の追い出したい鬼を発表する子どもたち

耳を澄まして、かるたに集中

2月3日、市民会館で市子ども会指導者連絡協議会の主催による、かるた取り大会が開催されました。これは、同大会を通じて日本古来からの文化に親しみ、地域の子どもの活性化を図ることを目的に行われており、ことしで16回目となります。

この日は、市内の小学校11校と中学校6校から約140人の参加がありました。

子どもたちはかるたに集中し、真剣な表情で競い合いました。



真剣な表情でかるた取りに臨む参加者

パソコンを使ってロボットを操縦



スラロームに挑む親子

1月27日、恵那文化センターで「親子ロボット教室」が開催され、市内の親子7組14人が参加しました。この事業は、地域情報化推進のため昨年10月に市と提携したソフトピアジャパン（大垣市）から講師を招き、パソコンで制御する車型ロボットを用いて行われました。参加者は、「前進」や「ターン」などの動作や、動作の時間をプログラミングし、Uターンや四角をクリアしてスラロームに挑戦するなど、ロボットの操縦を楽しみました。

ペアのおひな様づくりに挑戦



おひな様づくりを体験する参加者

山岡陶業文化センターで1月27日、季節に合わせた特別教室として「ペアのおひな様づくり教室」が開催されました。ひな祭りを前に、子どもや孫へのプレゼントにと約30人の参加者が挑戦。筒状の土台に顔や着物などの部品を取り付けて男びなと雌びなを作りました。着物を取り付ける工程では、平らに伸ばした粘土を何枚も重ねて着物の質感を表現していました。作品はセンターで乾燥・焼成した後、参加者に渡されます。

「所蔵名品展」 - 明治・大正・昭和の作品を中心に -

中山道広重美術館
企画展覧会

会期
4/6(日)まで

開館時間 午前9時半
~午後5時(入館は午後4
時半まで)

観覧料 ▷大人=500円
(団体400円)▷小・中・高
校生=300円(団体240円)
春休み期間中、小中高生
は無料

毎週月曜日(祝日を除く)
祝日の翌日(土日・祝日を除
く)休館。3/3(月)~5(木)は展
示替えのため休館します。

問い合わせ 中山道広
重美術館☎20-0522



ジョルジュ・アンリ・ルオー
「聖なる風景」

油彩・キャンパス
1950年代以降

木工家具職人の子としてパリ
に生まれたジョルジュ・アンリ・
ルオー(1871~1958)。

ステンドグラス職人の見習い
として働きながら、装飾美術学校
夜間部に通いました。ステンド
グラスを思わせるような黒い線
の表現にみられる独特の強い筆
遣いと厚塗りが特徴です。

彼は信仰心のあついカトリッ
ク信者で、本図「聖なる風景」を
はじめ、晩年に手掛けた風景画の
数々は、自然としての風景の表現
というよりは、聖書の中の風景や
キリストがいる風景、自身の心
の中の風景を表現しています。

広重賞第4回恵那市こども版画コンクール



広重賞 櫻村一毅
「いくよ バス!!」(長島小5年)

市長賞 佐藤晋「けんにのせ
るぞ!!」(大井第二小1年)



市議会議長賞 水野菜々美
「酒屋の店先」(岩邑中1年)



広重賞第4回恵那市こども版画コンクールに、市内
25の小中学校・幼稚園・保育園から2,948点の応募があ
り、164点が入賞しました。

作品展 3月6日(木)~4月6日(日)(月曜日、3月21
日は休館)午前9時半~午後5時(入館は午後4時30
分まで)中山道広重美術館 観覧無料

表彰式 3月9日(日)午前10時~ 中山道広重美術
館 メーンラウンジ(無料ゾーン)

【入賞者紹介】

市教育長賞=長谷川彩(東野小6年) 美術館館長賞=
土屋菜摘(三郷小5年) 恵那文化振興会長賞=伊藤優希
(大井第二小6年) 恵那商工会議所会頭賞=伊藤結捺
(東野幼稚園) 曾我夏波(武並小3年) 大島勇氣(東野小6
年) 恵南商工会長賞=堀田若菜(明智小2年) 大高まり

あ(明智小3年) 熊谷汐菜(岩邑中1年) 恵那商店街連
合会長賞=中家涼(大井幼稚園) 伊藤彩花(大井第二小2
年) 古田大也(大井第二小4年) 恵那市観光協会会長賞=
西尾隼(東野幼稚園) 伊藤裕貴(東野小4年) 鹿野遥(恵那
東中1年) 恵那市校長会会長賞=長谷川風沙(中野方小2
年) 濱野一騎(大井第二小2年) 松田奏(武並小4年) 柘井
文平(恵那西中3年)

奨励賞=岩塚拓也(大井幼稚園) 林珠蘭(二葉幼稚園) 藤織瑛璃(飯
地小3年) 熊谷妃菜(岩邑小5年) 和田英聖(恵那北小4年) 中村優斗
(大井小2年) 可知明莉(大井第二小2年) 小林雪乃(長島小3年) 平
出嶺(上矢作小4年) 三宅加純(串原小6年) 宮地耕平(武並小5年)
驚見真由紀(中野方小1年) 栗本直也(中野方小5年) 池戸健生(東野
小1年) 渡邊誠吾(東野小4年) 鈴木翔太(東野小5年) 西尾大貴(東
野小6年) 永井まゆ(山岡小2年) 足立梓織(吉田小2年) 伊藤寛太
(吉田小3年) 杉本稔記(岩邑中1年) 山内優恵(岩邑中1年)

問い合わせ 中山道広重美術館☎20-0522

未来の地域医療に期待

県内で働く医師を育てようと、岐阜大学医学部で
は本年度から「地域枠推薦」として県内から10人の
生徒を選抜。今回、その地域枠推薦で恵那高校理数
科3年の林雄幹くんが、一般推薦では同校3年の西
尾志織さんが合格し、2月20日、市長へ報告に訪れ
ました。林くんは総合診療医を、西尾さんは小児科
医を目指し、将来は地元での地域医療の貢献を誓い
ました。可知市長は「大いに期待している。頑張っ
てください」と激励の言葉を送りました。



地域医療の貢献を誓って握手する西尾さん(左)と林くん(右)

バイオリンの音色肌で感じる



ヴィエラ・エルトヴァさんのユニークな音楽劇の様子

中野方小学校で2月13日、音楽文化国際交流演奏
会が開かれ、中野方小学校と飯地小学校の児童約
120人がチェコ出身のバイオリン奏者ヴィエラ・エ
ルトヴァさんらによる生演奏を楽しみました。この日
披露されたのは、「情熱大陸」など本格的な演奏のほ
か、「おむすびコロリン」の音楽劇、児童も含めた全
員による「ピリブ」の合唱など全7曲。参加した
児童らは「バイオリンの音色がきれいではびっくりし
た」と感想を述べていました。

伝えたい「想い」をカタチに

恵那文化センターで2月20日から29日、恵那北中
学校3年生36人の美術作品展「『想いをカタチに』展」
を開催しました。同校では、昨年卒業制作とし
て、生徒たちが自分の「伝えたい想い」を形にし、
第3者へ伝えたいこと、作品を通して自分を見つめ
直すことを目的に取り組んでいます。作品には、荒
れた社会情勢や地球温暖化による自然環境問題、い
じめや壊れやすい心などを表現したものが多く、訪
れた人たちは立ち止まって眺めていました。



「想い」を込めた作品に見入る親子

町並み飾るおひなさま



岩村本通りの町並みの説明を受ける参加者

2月17日、岩村町で恵那市を知るまいか現地研修
「城下町散策と酒蔵見学」が開催され、18人が参加し
ました。ボランティアガイドの方から重要伝統
的建造物群保存地区の岩村本通りの説明を受けなが
ら、勝川家や木村邸などを見学しました。当日は、
いわむら城下町のひなまつりが開催され、各所にお
ひなさまが飾られ、中でも天保4(1833)年の白木
の御殿作りのおひなさまや岩村藩主邸に伝わる
内裏雛など、参加者は熱心に見入っていました。